東日本大震災以来、甚大な被害を受けた沿岸地域の復興のため、多くの公共事業が行われました。（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターはこれらの復興に向けた公共事業に先立ち、岩手県教育委員会の調整のもと、復興関連発掘調査を実施してまいりました。

山田町でも平成25年度から28年度にかけ、地域のみなさんの御協力を得ながら13遺跡を調査し、山田湾沿岸の縄文時代の大集落の数々や町内各地から発見された古代から中世までの鉄づくりの跡など多くの成果がありました。

今回はこれら13遺跡の調査成果を一堂に公開します。発掘調査によって明らかになった先人の歴史や地域の魅力について思いを巡らせていただければ幸いです。

②

③

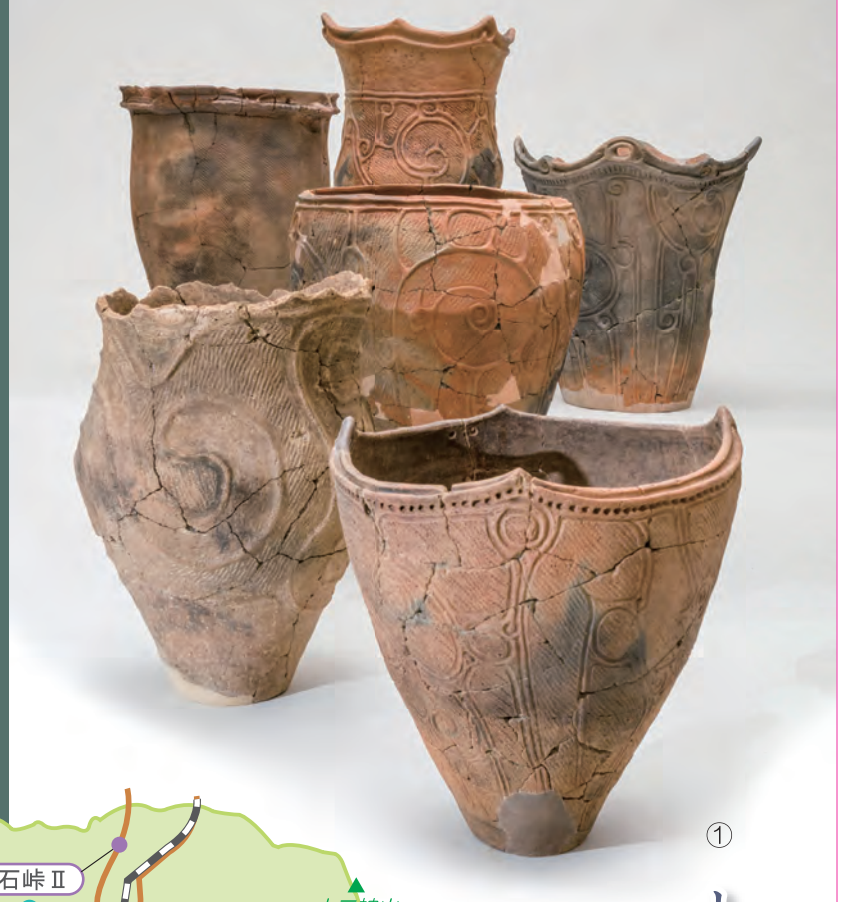
山田町内復興関連発掘調査遺跡

〔豊間根〕
- 石峠Ⅱ遺跡
- 豊間根新田Ⅰ遺跡

〔山田〕
- 間木戸Ⅴ遺跡
- 間木戸Ⅱ遺跡
- 間木戸Ⅰ遺跡
- 沢田Ⅲ遺跡
- 房の沢Ⅳ遺跡

〔大沢〕
- 浜川目沢田Ⅰ遺跡
- 浜川目沢田Ⅱ遺跡

〔船越〕
- 焼山遺跡
- 田の浜館跡
- クク井遺跡
- 川半貝塚


①

山田湾と山々の恵み

豊富な砂鉄と燃料

④

⑤

①山田町の縄文土器
②特殊な炉を持つ竪穴住居跡（石峠Ⅱ遺跡）
③調査に参加した皆さん（沢田Ⅲ遺跡）
④炉から流れ出た鉄滓（焼山遺跡）
⑤製鉄炉（田の浜館跡）